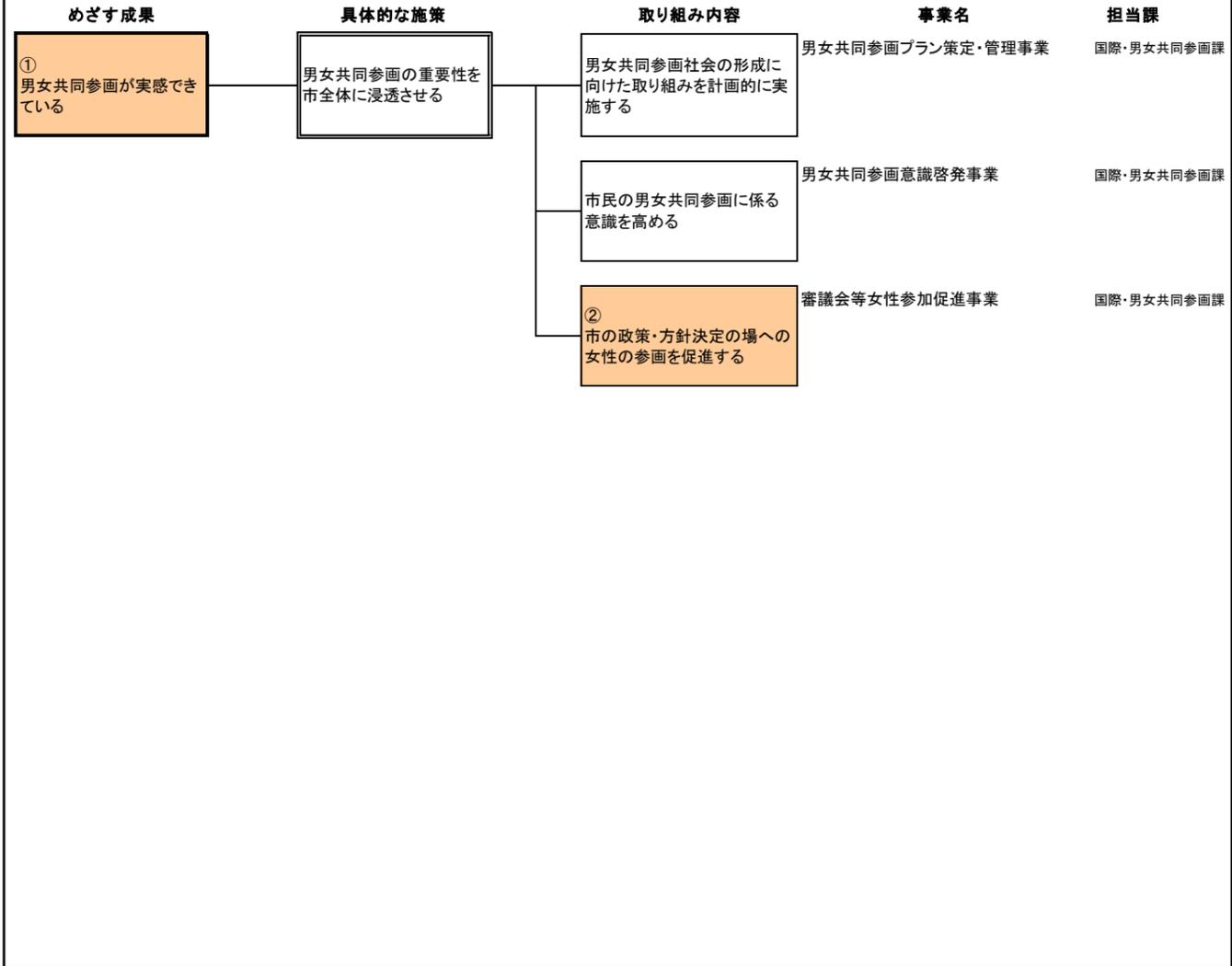


# 平成25年度「めざす成果」の達成に向けた進行管理シート

## 7-1-2 男女共同参画が実感できている

総合計画体系	健康領域・基本目標	社会の健康・市民の活力があふれるまち
	個別目標	互いに認め合う社会をつくる
	めざす成果	男女共同参画が実感できている 男女がそれぞれの能力を十分に発揮し、家庭、地域、職場、政策決定の場など、あらゆる場面で協力し、社会の発展を支えています。

### 「めざす成果」を達成するための施策展開（ロジックツリー）



総合計画掲載指標①		総合計画掲載指標②	
男女が平等であると感じる市民の割合		審議会、委員会などにおける女性委員の割合	
計画策定時 現状値	18.1%	計画策定時 現状値	24.4%
実績値 (H24)		実績値 (H24)	23.8%
中間目標値 (H23)	35.0%	中間目標値 (H23)	50.0%
目標値 (H25)	35.0%	目標値 (H25)	50.0%

所 管 部	文化スポーツ部
-------	---------

**平成24年度までの取り組み内容**

【男女共同参画の重要性を市全体に浸透させる】

- ・第2次やまと男女共同参画プラン（平成24年度から30年度の7年間）のもと、前期実施計画（平成24年度から26年度の3年間）を定め、庁内33課と3つの外部団体が主管する264本の事業について、進行管理を行いました。
- ・男女共同参画意識啓発事業を企画実施する4名の公募委員とともに、新しいプランのPR、「ワーク・ライフ・バランス」、「女性に対するあらゆる暴力の根絶」、「防災と地域の絆」といったことを主眼にして事業の企画、運営を行いました。
- ・第2次やまと男女共同参画プランに対して、外部からの意見を求めるため、新たに公募委員5名からなる「大和市男女共同参画懇話会」を設け、議論をするとともに、男女共同参画全般について学習する機会を提供しました。
- ・若い世代への男女共同参画意識の啓発という意味合いから、市内の高校へ出向いて、デートDV防止セミナーを毎年行っていますが、平成24年度は、柏木学園高校の1年生、約250人を対象に行い、「デートDV」に対する理解を深めました。
- ・審議会、委員会などにおける女性委員の割合について、各課かいへの働きかけを行った結果、参画率は、23.8%（H24.4.1現在）から25.1%（H25.4.1現在）と1.3ポイントアップしました。

**構成事業に対する考え方（事業の量及び実施手法）**

- ・第2次やまと男女共同参画プラン後期実施計画（平成27年度から30年度）の策定に向けて、男女共同参画に関する市民意識調査（対象：無作為抽出の市民3,000人対象）を実施し、その集計結果を踏まえて、平成26年度に計画を策定します。
- ・第2次やまと男女共同参画プラン前期実施計画に基づく事業の成果について、平成25年度に初めて「大和市男女共同参画懇話会」委員から意見を求めます。
- ・第2次やまと男女共同参画プランの基本目標、個別目標、方針のどこに重点を置くかを念頭に、男女共同参画意識啓発企画委員とともに事業を企画、実施していきます。
- ・審議会、委員会などにおける女性委員の割合については、25.1%と目標の50%には程遠い状況ですが、まずは、内閣府の「第3次男女共同参画基本計画」に定められた「市区町村の審議会等委員に占める女性の割合」の目標値30%（平成27年）を達成できるよう取り組みます。

### 今後の展開方針

今後の展開方針	注）例年とおりの事業展開を予定している事務事業については、特段の記載をしていません。
新規事業の立案	（該当する事務事業）
既存事業の拡充	（該当する事務事業） 男女共同参画プラン策定・管理事業
事業の廃止・縮減	（該当する事務事業）
事業の効率化	（該当する事務事業） 男女共同参画意識啓発事業 ・DVやセクハラ問題など、人権擁護委員の啓発活動と連携して行います。
その他見直し	（該当する事務事業） 男女共同参画意識啓発事業 ・男女共同参画メールマガジンを庁内職員向けに月1回発行していますが、職員向けの情報提供や研修機会をさらに充実させていきます。